

# 地方創生実践塾の紹介

令和6年8月



一般財団法人

地域活性化センター

Japan Center for Regional Development

# 地方創生実践塾とは

- 先進的な取り組みを行う地域を開催地とし、講義やフィールドワーク、グループワーク等のメニューから、より実践的な地域づくりのノウハウや手法を学ぶことができる2～3日間のセミナーです。
- 全国から集まる熱い参加者と思いを共有し、強いつながりをつくることも魅力です。

# 開催自治体のメリット

- 地域の取り組みを全国に発信
- 全国の参加者と新たな繋がりを創出
- 地元の意欲が向上し、新しい地域づくりに繋がる
- 開催経費は基本的に地域活性化センターで負担

# カリキュラムのイメージ

※2日開催の場合

## 1日目

- 開催テーマに関する基本的な知識や開催地での取組の把握から始まり、より具体的な学びに入ります。
  - ・開講式
  - ・主任講師(※)による導入講義
  - ・自治体職員、地域づくり関係者等の特別講師(※)による講義、パネルディスカッション等

## 2日目

- より実践的な内容になります。グループワークでは講義やフィールドワークを通じて感じた意見を交換し、そのテーマに関する課題について協議することにより、認識を深めます。
- 最後に、グループワークの発表やまとめの講義を行い、トータルとして明日から実践できるノウハウの習得を目指します。
  - ・主任講師、特別講師(※)等による講義
  - ・フィールドワーク(団体の活動やまちづくりの各種取組を現地で学びます)
  - ・グループワーク
  - ・主任講師による総括講義
  - ・閉講式

※主任講師、特別講師：開催地で活動している有識者や専門家、地域づくり活動の実践家等

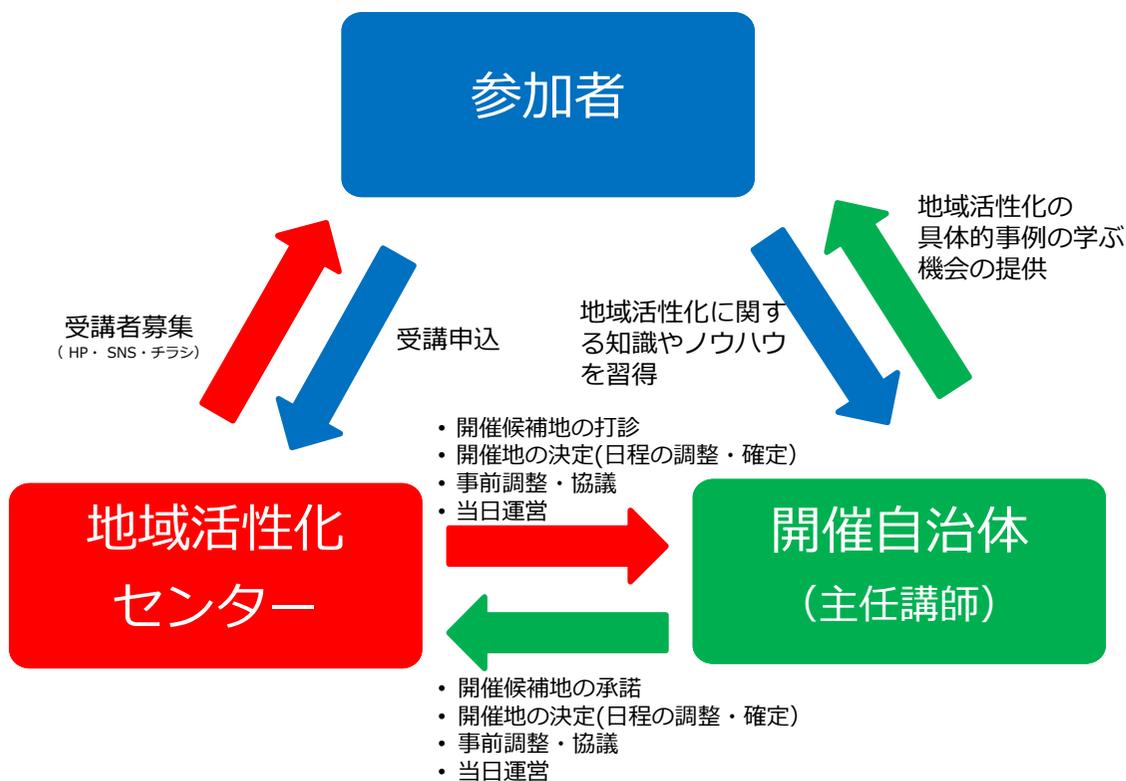
# 開催概要

◆ 開催地で行っている地域活性化に関する取組みをテーマとして、主任講師及び特別講師（開催地で活動している有識者や専門家、地域づくり活動の実践家等）、行政関係者による講義やフィールドワークを行います。また、参加者がグループワークを行い、主任講師が提示するテーマに関して討議や検討のうえ結論を発表し、主任講師や特別講師の講評を得ることで、地域活性化に関する知識やノウハウを習得することを目指します。

- 1.開催時期 5月から2月（3日間又は2日間）  
 ＊水曜日～金曜日もしくは土日を含む2～3日間
- 2.定員 30名程度（会場の規模等により変動）  
 ＊最小遂行人員（25名程度）に満たない場合は中止する場合があります。
- 3.開催方法 現地
- 4.参加要件 参加にあたっては参加費用1万円をご負担いただきます。

## ■プログラムイメージ（2日間の場合）

	時間	事項	備考
1 日 目	12:30～13:00	受付・オリエンテーション	
	13:00～13:15	開講式	
	13:15～14:15	主任講師講義	
	14:15～14:20	休憩	
	14:20～15:20	特別講師講義①	
	15:20～15:40	写真撮影・休憩	講義やフィールドワーク、グループワークなど現地ならではの研修を実施
	15:40～17:20	フィールドワーク①	
	18:30～20:30	交流会	
2 日 目	9:15～9:45	フィールドワーク②	
	9:45～10:00	休憩、移動	
	10:00～11:00	フィールドワーク③	
	11:00～12:00	特別講師講義②	
	12:00～13:40	昼食/グループワーク 閉校式	



※プログラム構成は開催自治体や主任講師のご意向に応じて自由に変更可能です。

# 令和5年度開催実績

回	開催地	日時	テーマ	参加人数
1	神奈川県 真鶴町	5/26(金)～27(土)	ローカルから未来をつくる～真鶴町の民力で共創する多様な暮らし～	23
2	愛知県 長久手市	6/23(金)～24(土)	日本一若いまちが挑む地域共生～正解のない問いへの取り組み方～	32
3	岩手県 紫波町	7/7(金)～8(土)	オガールで考える「まちへの投資」～プライベートマインドとパブリックマインド～	28
4	島根県 出雲市	7/22(土)～23(日)	まちづくりメディアラボ～WEB・動画・写真を駆使した地域プロモーション技法を学ぶ～	24
5	岐阜県 飛騨市	8/25(金)～26(土)	関係人口と共に進める地域づくり～地域の困りごとが地域資源に～	31
6	長野県 千曲市	9/15(金)～16(土)	ワーケーションから生まれた『超』地域型共創～共感がつくりだす 官民ごちゃまぜプロジェクト～	14
7	長崎県 大村市	10/6(金)～7(土)	農村観光と新規就農支援の仕組み ～人材育成と地域経済創出の現場から～	18
8	徳島県 神山町	10/13(金)～14(土)	まちを将来世代につなぐプロジェクト～将来世代が、可能性を感じられるまちを目指して～	26
9	北海道 東川町	10/27(金)～28(土)	東川町が目指す「適疎」なまちづくり	20
10	宮城県 石巻市	11/10(金)～11(土)	未来へとつなぐREBORN！～クリエイティブなまちづくりアプローチを新規プレイヤーの創出から学ぶ～	20
11	高知県 四万十町	11/17(金)～18(土)	移住者1%戦略の実現～住みたいをつくるまちの秘訣～	26
12	東京都 檜原村	11/24(金)～25(土)	日本一有名な木のおもちゃ村へ！木育×地域活性化～檜原村トイ・ビレッジ構想によるワンストップの森林資源活用～	17
13	宮城県 新富町	12/8(金)～9(土)	農業を基盤としたまちづくり～世界一チャレンジしやすいまちを目指して～	16

# 都道府県別開催実績(H17～R6)

ブロック	No.	都道府県	開催回数
北海道、東北	1	北海道	8
	2	青森県	2
	3	岩手県	9
	4	宮城県	3
	5	秋田県	1
	6	山形県	2
	7	福島県	2
関東、甲信越	8	茨城県	0
	9	栃木県	0
	10	群馬県	5
	11	埼玉県	4
	12	千葉県	1
	13	東京都	9
	14	神奈川県	6
	15	新潟県	4

ブロック	No.	都道府県	開催回数
北陸、東海	16	富山県	2
	17	石川県	1
	18	福井県	2
	19	山梨県	2
	20	長野県	9
	21	岐阜県	6
	22	静岡県	3
	23	愛知県	4
近畿	24	三重県	0
	25	滋賀県	2
	26	京都府	3
	27	大阪府	1
	28	兵庫県	6
	29	奈良県	2
	30	和歌山県	5

ブロック	No.	都道府県	開催回数
中国、四国	31	鳥取県	4
	32	島根県	10
	33	岡山県	4
	34	広島県	2
	35	山口県	3
	36	徳島県	5
	37	香川県	3
	38	愛媛県	4
	39	高知県	6
九州	40	福岡県	1
	41	佐賀県	4
	42	長崎県	2
	43	熊本県	2
	44	大分県	3
	45	宮崎県	3
	46	鹿児島県	2
	47	沖縄県	2

# 過去の開催事例①

令和6年度 地方創生実践塾in岩手県紫波町 カリキュラム

## 1日目

12:40～12:55 受付 (オガールプラザ2階 情報交流館大スタジオ)

13:00～13:15 開講式

13:15～14:15 オリエンテーション

14:15～14:30 休憩

14:30～15:45 講義①「まちの未来をデザインする

～「オガール・日詰」と農村「学校跡地」の暮らしを愉しむ～」

主任講師：紫波町企画総務部 企画総務部長 鎌田 千市 氏

15:45～16:00 休憩

16:00～17:15 フィールドワーク①「日詰商店街さんぽ」

17:15～ 急激な関係づくり

# 過去の開催事例

令和6年度 地方創生実践塾in岩手県紫波町  
(フィールドワークの様子)



# 過去の開催事例②

令和6年度 地方創生実践塾in岩手県紫波町 カリキュラム

## 2日目

9:00～ 受付（オガールプラザ2階 情報交流館大スタジオ）

9:00～ 10:00 フィールドワーク②「オガールさんぽ」

10:15～10:30 休憩

10:30～11:45 講義②「エネルギーから暮らしをデザインする  
～快適で省エネなエコハウス～」

特別講師：株式会社エネルギーまちづくり社 代表取締役

竹内 昌義氏

11:45～12:45 昼食

12:45～14:00 講義③「風景にさわる～そこでしか生まれない次の風景～」

特別講師：有限会社オンサイト計画設計事務所 代表取締役

長谷川 浩己氏

# 過去の開催事例③

令和6年度 地方創生実践塾in岩手県紫波町 カリキュラム

## 2日目

14:00～14:15 休憩

14:15～15:45 講義④「風景から稼ぐ仕組みを創る

～オガールとノウルの思考プロセス～」

特別講師：株式会社オガール 代表取締役 岡崎 正信 氏

15:45～16:00 休憩

16:00～17:15 3人でトークセッション

コーディネーター：紫波町 参与 高橋 堅 氏

岡崎 正信 氏、鎌田 千市 氏

17:15～17:25 写真撮影

17:30～19:30 交流会

# 過去の開催事例

令和6年度 地方創生実践塾in岩手県紫波町  
(フィールドワークの様子)



# 過去の開催事例

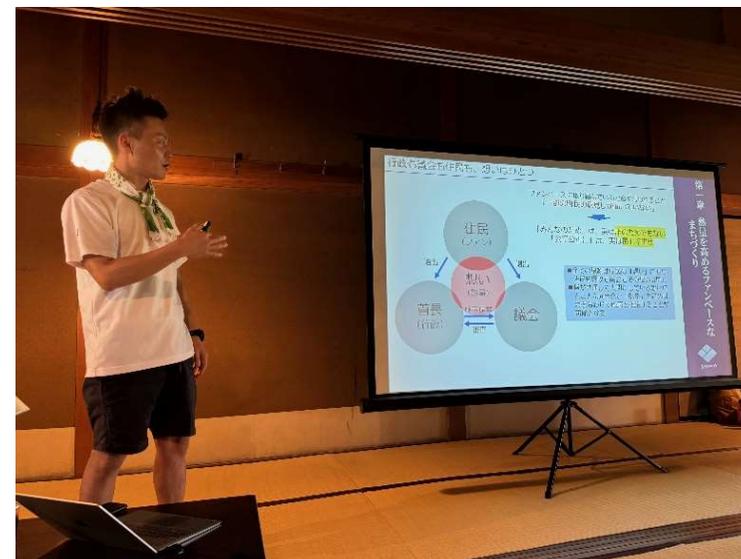
## 令和6年度 地方創生実践塾in岩手県紫波町 カリキュラム

### 3日目

- 9:00～ 受付（平井家住宅 2階座敷）
- 9:05～10:05 講義⑤「日詰商店街に潤いを  
～人をつなぎ、巻きこむことで新しい動きに～」  
特別講師：藤屋食堂 代表 鷹嘴 賢次 氏
- 10:05～10:15 休憩
- 10:15～11:15 講義⑥「少しの勇気で小さな公民連携を積み重ね、地域みんな  
で大きな夢を育もう  
～オガールプロジェクトの学びを次の世代へ～」  
特別講師：紫波町産業部商工観光課 商工観光係長  
須川 翔太 氏
- 11:15～12:30 ふりかえりグループワーク  
テーマ：「まちの未来をデザインする  
～まちと農村の価値、自分の地域を考える時間～」  
コーディネート：紫波町地域コミュニティ支援  
主任アドバイザー：宮崎 道名 氏
- 12:30～12:45 閉講式

# 過去の開催事例

令和6年度 地方創生実践塾in岩手県紫波町  
(講義の様子)



## 令和元年度地方創生実践塾in高知県梶原町

「小さな拠点ゆすはらづくり～集落活動を核とした地域の再活性化」

【梶原町役場 まちづくり推進課 まちづくり推進係 主事 松本 裕子 氏】

「北は北海道、南は宮崎県まで全国各地から多くのみなさんにご参加いただき交流を深めるとともに、町と小さな拠点・集落活動センターの取り組みについて貴重なご意見・ご提案をいただきました。いただいたご意見等は講師と集落活動センターの代表者が町長へと報告し、行政と地域住民が協働で取り組むまちづくりへと生かされています。」

## 平成30年度地方創生実践塾in島根県海士町

「海士町の地方創生 "ないものはない" 離島からの挑戦」

【島根県海士町 総務課 主査 地域×教育魅力化特命担当 濱中 香里 氏】

「"ないものはない"島で、あるものを活かしたまちづくりを参加者の皆さんに実際に体験してもらうことで、海士町を身近に感じていただけたと思います。さらに、グループワークを通して参加者の皆さんに島の未来を一緒に考えてもらうことで、我々にとっても思い出に残る研修となりました！」

# 令和6年度開催予定

回	開催地	開催日	テーマ
1	神奈川県 綾瀬市	5/31(金)～6/1(土)	何も無いまちがロケの聖地に ～ロケ誘致による地域活性化～
2	和歌山県 みなべ町	6/20(木)～22(土)	官民地域連携「梅収穫ワークショップ」で地域活性化 & 積極的関係人口の創出 ～日本一の梅の産地・みなべ町のウェルビーイングな課題解決事例～
3	岩手県 紫波町	6/27(木)～29(土)	まちの未来をデザインする ～まち「オガール・日詰」と農村「学校跡地」の暮らしを愉しむ～
4	徳島県 美波町	7/25(木)～27(土)	にぎやかそ(にぎやかな過疎)を創る ～サテライトオフィス誘致を核とした人口減少社会のまちづくり～
5	新潟県 燕市	8/9(金)～10(土)	まちあそびイノベーション ～高校生が創る私たちのふるさと～
6	兵庫県 丹波篠山市	9/19(木)～21(土)	官学連携による地域人材育成と農村イノベーション ～地域に必要な人材を、地域で育み、地域で活かす～
7	愛知県 長久手市	10/11(金)～12(土)	『日本一若いまち』の対話、プロセスを重視したまちづくり ～なぜ長久手市は若者を引き寄せるのか～
8	鹿児島県 奄美市	11/8(金)、 11/16(土)～17(日)	まちづくりメディアラボ ～WEB・動画・写真を駆使した地域プロモーション技法を学ぶ～
9	鳥取県 日南町	11/21(木)～23(土)	中山間地域のモデルを創るまちづくりの実践 ～森林資源を活用したSDGs×官民連携による創造的過疎のまちづくり～



地域活性化センターでは地域力創造大学校®として、地域イノベーターの養成を目的に、自治体職員などセンターの賛助会員に向けた各種事業を実施しています。

現在、ニューノーマルの時代に合わせて、いつでも、どこでも学べるよう地方創生実践塾やセミナーなどの動画をアーカイブとして保存し、付加サービスとして賛助会員に提供しています。

- 主任講師及び特別講師の講義を主に撮影・配信予定です。配信部分についてはご相談・ご確認させていただきます。
- 録画とアーカイブ配信について、無償でご協力をお願いしています。

# 応募方法

◆令和7年度に地方創生実践塾を開催する自治体を募集しています。

次のアンケートフォームよりご回答ください。

<https://forms.gle/4XrGYrcj2JsKh3sj7>

◆応募期限：令和6年8月30日（金）

# 問い合わせ先

一般財団法人地域活性化センター

企画・人材育成グループ セミナー統括課

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル13階

TEL: 03-5202-6134

FAX: 03-5202-0755

MAIL: [seminar@jcrd.jp](mailto:seminar@jcrd.jp)

HP: <https://www.jcrd.jp/>

※詳細な資料等もお送りしますので、  
左記連絡先までお気軽にお問い合わせ  
ください。